

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190200446		
法人名	社会福祉法人 唐津市社会福祉協議会		
事業所名	唐津市社会福祉協議会認知症対応型共同生活介護事業所おうか		
所在地	佐賀県唐津市相賀5134番地2		
自己評価作成日	令和3年1月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和3年2月18日	外部評価確定日	令和3年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>利用者様が住み慣れた地域の閑静な環境のもと、家庭的な雰囲気の中で安らぎと温もりを感じながらゆったりとした時間を過ごすことができます。また、入居者様が出来るだけ元気に笑顔で楽しく過ごせるようにと、毎朝のラジオ体操、音楽に合わせた体操を日課とし、午後からは手作りのカルタ取りやおやつ作りなどを行っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>街中から少し離れた海と山に囲まれた閑静な環境の中に、平屋の建物が並んでいる。玄関横には火鉢の水槽に、施設近くに生息しているというメダカが泳いでいる。駐在員さんが癒しの一つになればと届けられたとのこと。施設の中はオープンキッチン、食堂、ロビーが繋がりがり日常の動線を考慮した作りとなっている。家庭的な雰囲気を大事にしている。施設の理念は、「私たちの願いは」「私たちの想いは」「私たちの夢は」と、共に暮していきたいという気持ちが伝わってくる。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の基本理念を毎朝、申し送り時に復唱し理念の共有を意識付けし、理念に基づきケアに取り組んでいる。まだまだ、不十分な面があるが理念に近づけるように今後も目指して行きたい。	事業所独自の基本理念を見える所に掲示し理念の共有を意識付けし、理念に基づきケアに取り組んでいる。まだまだ、不十分な面があるが理念に近づけるように今後も目指して行きたい。	開設時に職員全員で考えた。理念をより浸透させるために作られた標語を毎日唱和している。月1回の職員会議時などでは 日々のサービスの場面を振り返り、実践に繋げている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	交流自体は少ないが、ご家族や民生委員等を招き、敬老会などを開催している。また、毎年、1月に地域の方が獅子舞をかぶり厄除けに施設へ訪問して下さる。	交流自体は少ないが、ご家族や民生委員等を招き、敬老会などを開催している。また、毎年、1月に地域の方が獅子舞をかぶり厄除けに施設へ訪問して下さる。	コロナ禍にて交流は自粛してきたが、毎年恒例である、地域の厄除け行事、「獅子舞い」の訪問は開設当初から続いている。今年も入所者、職員が厄除け祓いを受けた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	限られた職員の中で可能な限り、認知症に関わる研修を受講するように努めているが、地域に向けて活かすことはできていない。	限られた職員の中で可能な限り、認知症に関わる研修を受講するように努めているが、地域に向けて活かすことはできていない。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者様の状況やヒヤリハットなどを毎回報告し、運営推進委員の意見やアドバイスを受け、それに基づき改善を図っている。	入居者様の状況やヒヤリハットなどを毎回報告し、運営推進委員の意見やアドバイスを受け、それに基づき改善を図っている。	感染症対策の為に、開催会場は地域の公民館を借りた。家族、地域代表者、行政担当者、施設代表者が出席メンバーである。参加者から出された意見は、職員会議の議題にも上げ改善を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	密の連携は行っていないが、制度に関する疑問点などはその都度、市の担当者に確認・相談を行っている。	密の連携は行っていないが、制度に関する疑問点などはその都度、市の担当者に確認・相談を行っている。	運営などに関して疑問があれば、相談できる関係である。行政担当者への相談事が少ないのは、法人内で解決できる環境であることも理由の一つである。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヶ月に一回、「身体拘束適正化検討委員会」を開催しケアの振り返りや研修の報告会による勉強会などを行い、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	3ヶ月に一回、「身体拘束適正化検討委員会」を開催しケアの振り返りや研修の報告会による勉強会などを行い、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	全職員に対し研修会を開いている。参加できない職員については書面と管理者からの口頭説明が行われている。一人ひとりのその日の気分や状態を把握することで、鍵をかけない自由な暮らしを支えるようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	可能な限り虐待防止に関する研修を受講し受講後は職員間で研修報告会を行っている。また、入浴時などに全身の観察を行っており、皮膚等に気になる異変等がある場合は、管理者その他の職員に報告、原因を話し合っている。	可能な限り虐待防止に関する研修を受講し受講後は職員間で研修報告会を行っている。また、入浴時などに全身の観察を行っており、皮膚等に気になる異変等がある場合は、管理者その他の職員に報告、原因を話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今、現在は成年後見制度を利用されている方はいないが、外部の研修を受け成年後見制度について学んだことを周知していきたい。	今、現在は成年後見制度を利用されている方はいないが、外部の研修を受け成年後見制度について学んだことを周知していきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約書及び重要事項説明書等に基づいて、説明を行い、ご家族様などに理解・納得して頂けるように努めている。	契約時、契約書及び重要事項説明書等に基づいて、説明を行い、ご家族様などに理解・納得して頂けるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様との日頃の関わりや定期モニタリング時等にご家族様への要望等を伺い、対応できる内容については、職員に周知・対応を図っている。	利用者様との日頃の関わりや定期モニタリング時等にご家族様への要望等を伺い、対応できる内容については、職員に周知・対応を図っている。	毎月送る請求書に添えて利用者の近況をできるだけ詳しく伝えている。利用者、家族から出された意見は、運営会議や職員会議の中で検討している。新型コロナウイルス感染症包括支援事業を活用してWi-Fi環境を整えたので今後は積極的に活用したいと考えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回の職員会議や経営推進会議などで意見や要望等言える機会を設けている。また、年1回の「勤務成績評定票」の際も意見等を反映させる機会がある。	毎月一回の職員会議や経営推進会議などで意見や要望等言える機会を設けている。また、年1回の「勤務成績評定票」の際も意見等を反映させる機会がある。	年1回の勤務成績評定時には担当課長との面談ができるシステムがある。また、毎月の職員会議で出された意見は会議録などで報告されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	「勤務評定票」などにより勤務状況等を把握している。職員の相談窓口も法人内に設置し、相談できる環境を整備し働きやすい環境整備に努めている。	「勤務評定票」などにより勤務状況等を把握している。職員の相談窓口も法人内に設置し、相談できる環境を整備し働きやすい環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に1回勤務評定を行い、職員の介護等の力量等の把握に努めている。また、研修計画に基づいて、職員全員が研修の受講ができるようにしている。	年に1回勤務評定を行い、職員の介護等の力量等の把握に努めている。また、研修計画に基づいて、職員全員が研修の受講ができるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	「唐津グループホーム連絡会」にて、交流や勉強会に極力参加するように努めている。	「唐津グループホーム連絡会」にて、交流や勉強会に極力参加するように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期には時間をかけ、じっくりと話を聞くことで、ご本人様の不安や悩みを打ち明けやすくし、不安や要望等に傾聴して関係づくりを図っている。	初期には時間をかけ、じっくりと話を聞くことで、ご本人様の不安や悩みを打ち明けやすくし、不安や要望等に傾聴して関係づくりを図っている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期面談や入所申込時等に、ご家族様の困りごとや要望等を把握するように心がけて、信頼が得られるように努めている。	初期面談や入所申込時等に、ご家族様の困りごとや要望等を把握するように心がけて、信頼が得られるように努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期時にご家族様の思いなどをお聞きし、詳しく理解することから行い、施設で支援可能事と支援できない事を説明し、ご本人様及びご家族様の要望等を取り入れて支援するように努めている。	初期時にご家族様の思いなどをお聞きし、詳しく理解することから行い、施設で支援可能事と支援できない事を説明し、ご本人様及びご家族様の要望等を取り入れて支援するように努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設での日常生活の中で、その人の能力に合わせ、出来る家事等のお手伝いをして貰っている。	施設での日常生活の中で、その人の能力に合わせ、出来る家事等のお手伝いをして貰っている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には定期的な面会をお願いしている。また、ご家族様を招いた行事などを開催し、可能であれば他科受診にも同行して頂いている。 (今現在は、コロナ感染拡大の影響により面会や行事などが制限されてしまっている)	ご家族様には定期的な面会をお願いしている。また、ご家族様を招いた行事などを開催し、可能であれば他科受診にも同行して頂いている。 (今現在は、コロナ感染拡大の影響により面会や行事などが制限されてしまっている)			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人等の面会は少ないので、定期的に馴染みの場所等にドライブに出かけている。(コロナ感染拡大の影響から外部との接触が出来なくなってしまった)	知人・友人等の面会は少ないので、定期的に馴染みの場所等にドライブに出かけている。(コロナ感染拡大の影響から外部との接触が出来なくなってしまった)	外出の回数は減っているが、施設の車で馴染みの場所に出かけている。散髪は業者ではなく、知人(地元)によるボランティアが数年前から続いている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃から利用者様同士の関係を見ながら、また、利用者様の意思を尊重しながら、リビング内で過ごせる時間を大切に、利用者様の関係性が保てるように、席を変更したり、職員が代弁したりするように努めている。	日頃から利用者様同士の関係を見ながら、また、利用者様の意思を尊重しながら、リビング内で過ごせる時間を大切に、利用者様の関係性が保てるように、席を変更したり、職員が代弁したりするように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院になったり、他施設へ変わられても、状況を確認したり、ご家族様への相談等にも応じるように説明している。	長期入院になったり、他施設へ変わられても、状況を確認したり、ご家族様への相談等にも応じるように説明している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その都度、ご本人に対して、意向の確認を行っている。また、利用者様との会話等から思いや希望等の把握に努めている。意向等の把握が困難な場合は、ご家族様の意向等を参考にして検討するように努めている。	その都度、ご本人に対して、意向の確認を行っている。また、利用者様との会話等から思いや希望等の把握に努めている。意向等の把握が困難な場合は、ご家族様の意向等を参考にして検討するように努めている。	日々の会話などから、汲み取っている。家族などの関係者と話し合い思いを実現する努力をしている。「孫に会いたい」「自宅でできた野菜をとりに行きたい」など家族の協力を得ながら職員が一緒に行動している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様との会話やご家族様からの情報などアセスメントを行い、その人の生活スタイルの把握に努めている。	ご本人様との会話やご家族様からの情報などアセスメントを行い、その人の生活スタイルの把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は常日頃からご利用者様と関わりを持ち、個々の現状把握に努め、新たな発見や変化等があればその都度、ケース記録やホーム日誌に記録し、朝・夕の申し送り時など報告し情報が共有できるようにしている。	職員は常日頃からご利用者様と関わりを持ち、個々の現状把握に努め、新たな発見や変化等があればその都度、ケース記録やホーム日誌に記録し、朝・夕の申し送り時など報告し情報が共有できるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング等に、ご本人様やご家族様の要望等を把握し、その都度職員に伝え、情報を共有している。また、評価時には職員や家族で話し合い、意見等を踏まえた介護計画書を作成している。	モニタリング等に、ご本人様やご家族様の要望等を把握し、その都度職員に伝え、情報を共有している。また、評価時には職員や家族で話し合い、意見等を踏まえた介護計画書を作成している。	担当職員を決めている。月1回の職員会議の時にモニタリングを実施し、進捗状況の確認をしている。職員の気づきや利用者の状態の変化は、個々のケア記録に記載して、職員間の情報の共有を図っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	担当職員が毎月評価する「介護サービス計画評価表」を確認し、意見等を踏まえ介護計画の見直しの必要性を検討している。	担当職員が毎月評価する「介護サービス計画評価表」を確認し、意見等を踏まえ介護計画の見直しの必要性を検討している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々のご本人やご家族との関りの中で、希望・要望等が生まれた際には、出来る限り意向に添えるように柔軟に対応していきたい。	日々のご本人やご家族との関りの中で、希望・要望等が生まれた際には、出来る限り以降に添えるように柔軟に対応していきたい。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後も運営推進会議等の情報や意見を活用して支援していきたい。	今後も運営推進会議等の情報や意見を活用して支援していきたい。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な往診などにより、常日頃からかかりつけ医との連携を図っている。些細な事でも医師に報告し指示を仰ぐようにしている。また、結果をご本人様、ご家族様に報告している。主治医やご家族様の同意により他科受診が必要があれば紹介状を持参して適切な医療を受けられるように支援している。	定期的な往診などにより、常日頃からかかりつけ医との連携を図っている。些細な事でも医師に報告し指示を仰ぐようにしている。また、結果をご本人様、ご家族様に報告している。主治医やご家族様の同意により他科受診が必要があれば紹介状を持参して適切な医療を受けられるように支援している。	事業所の協力医のほか、利用前からのかかりつけ医での受診を継続している利用者もおられる。専門医以外は往診である。複数の医療機関を利用されている利用者もおられ、医療関係者との関係は密に結んでいる。家族への報告は細かく行うようにしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が主となり、日々の健康管理を介護職員と支援している。	看護師が主となり、日々の健康管理を介護職員と支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関への同行、診察の立会い、「入院時情報提供書」を提供し看護師やソーシャルワーカーとの情報交換を行い、現状の把握に努めている。	入院時には医療機関への同行、診察の立会い、「入院時情報提供書」を提供し看護師やソーシャルワーカーとの情報交換を行い、現状の把握に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に緊急時及び終末期における医療や介護に関する意思確認書にて、説明し同意を得ている。また、利用者様の状態により、ターミナルとなりうるケースについては、主治医、家族、施設と3者で面談し、終末期の在り方について話し合いを行っている。	入所時に緊急時及び終末期における医療や介護に関する意思確認書にて、説明し同意を得ている。また、利用者様の状態により、ターミナルとなりうるケースについては、主治医、家族、施設と3者で面談し、終末期の在り方について話し合いを行っている。	これまでに看取りの経験はない。重度化に伴う意思確認を作成し、事業所ができる最大ケアについて説明を行っている。今後は環境を整え本人や家族の意向を踏まえた支援ができるようになりたいと考えている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時には主治医や看護師の指示等に従って対応している。また、緊急時の対応についての研修会に参加し、職員全員に周知している。	急変時には主治医や看護師の指示等に従って対応している。また、緊急時の対応についての研修会に参加し、職員全員に周知している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防避難訓練を実施しているが、職員のみでの訓練の為、消防署の協力を得て訓練を実施したい。	年2回、消防避難訓練を実施しているが、職員のみでの訓練の為、消防署の協力を得て訓練を実施したい。	火災だけではなく、様々な災害対策が必要と考えている。長時間停電の経験を踏まえ、ほかの施設の対応などの情報を交換し今後の対応について検討している。避難場所は近くの公民館である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の尊厳を大切に、優しい言葉かけを心掛けながらケアを行っているが、不十分な面が多々ある。	利用者一人一人の尊厳を大切に、優しい言葉かけを心掛けながらケアを行っているが、不十分な面が多々ある。	接遇の研修を行い、援助が必要な時も、まず本人の気持ちを考えたさりげないケアが大事であることを学んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常日頃の言葉かけの中で、自己決定を促す言葉かけを行うようにしている	常日頃の言葉かけの中で、自己決定を促す言葉かけを行うようにしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴時間などは、ある程度の時間を優先しているが、その他は出来るだけご利用者のペースや希望に沿って支援するように心掛けている。	食事や入浴時間などは、ある程度の時間を優先しているが、その他は出来るだけご利用者のペースや希望に沿って支援するように心掛けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合った服か、汚れや乱れ、爪や髭など身だしなみには気を付けている。また、ご家族の協力によりボランティアで散髪をして頂いている。	季節に合った服か、汚れや乱れ、爪や髭など身だしなみには気を付けている。また、ご家族の協力によりボランティアで散髪をして頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	平日の昼食と夕食については、レストランに委託している。施設職員がご利用者様ひとり一人に応じた食事形態で提供している。なお、朝食及び日祝日については施設職員が調理している。	平日の昼食と夕食については、レストランに委託している。施設職員がご利用者様ひとり一人に応じた食事形態で提供している。なお、朝食及び日祝日については施設職員が調理している。	配達されるレストランの食事は高齢者向けの食事となっている。食器や盛り付けの配慮も伺える。休日の食事は利用者と一緒に作れるお好み焼にしたり、雑煮は豆腐と団子の粉でつくるなど工夫しながら食事を一緒に楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事チェック表により食事や水分の摂取量を記録している。体重を定期的に観察し、食事の量など調整している。ご利用者様ひとり一人に応じた対応を行っている。	食事チェック表により食事や水分の摂取量を記録している。体重を定期的に観察し、食事の量など調整している。ご利用者様ひとり一人に応じた対応を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の能力に応じ、毎食後口腔ケアを行ってもらっている。また、義歯の不具合や痛み等があれば、協力歯科医による訪問診療をお願いしている。	個々の能力に応じ、毎食後口腔ケアを行ってもらっている。また、義歯の不具合や痛み等があれば、協力歯科医による訪問診療をお願いしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	「排泄チェック表」にて排泄パターンを把握し、定期的に声掛けを行いトイレでの排泄を促している。また、夜間などは容易に排泄できるように、ポータブルを使用させて頂いている。	「排泄チェック表」にて排泄パターンを把握し、定期的に声掛けを行いトイレでの排泄を促している。また、夜間などは容易に排泄できるように、ポータブルを使用させて頂いている。	昼はトイレでの排泄が主である。それぞれの状態(能力)に合わせた介助が行われている。布パンツ使用の利用者もあり維持していきたい。トイレ内は車いす利用となっても十分な広さがある。手すりの設置も自立を促すことを考慮した設置となっている	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや牛乳などの乳製品を提供したり、水分摂取時には飲み物の工夫をし飲み残し等のないよう提供している。また、予防策としてテレビ体操による運動を実施している。それでも、便秘になる場合は主治医へ相談し緩下剤の処方を受けている。	ヨーグルトや牛乳などの乳製品を提供したり、水分摂取時には飲み物の工夫をし飲み残し等のないよう提供している。また、予防策としてテレビ体操による運動を実施している。それでも、便秘になる場合は主治医へ相談し緩下剤の処方を受けている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	家庭的な浴室、浴槽で、マンツーマンによる介助にて入浴して頂いている。基本的に曜日や時間帯(午後)を決めて入浴支援しているが、ご本人様に意思確認を行いながら、嫌がられる時などは曜日の変更などを行いながら支援している。	家庭的な浴室、浴槽で、マンツーマンによる介助にて入浴して頂いている。基本的に曜日や時間帯(午後)を決めて入浴支援しているが、ご本人様に意思確認を行いながら、嫌がられる時などは曜日の変更などを行いながら支援している。	週2から3回実施している。毎日準備しているため希望があれば対応可能である。2号館の浴室は浴槽が真ん中にあり両側から手助けができる、また昇降機の設置で介護負担の軽減となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人様やご家族様からの希望時など、健康上休息が必要な場合などは、いつでも安静臥床ができるように対応している。少しでも安眠できるように、布団などはご自身の使い慣れた物を使用して頂いている。	ご本人様やご家族様からの希望時など、健康上休息が必要な場合などは、いつでも安静臥床ができるように対応している。少しでも安眠できるように、布団などはご自身の使い慣れた物を使用して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方内容は、個人別のファイルに綴り、いつでも確認ができるようにしている。追加や変更等があった場合には、その都度ホーム日誌に記載し、職員間の周知を図り、その後の経過観察を主治医に報告している。	処方内容は、個人別のファイルに綴り、いつでも確認ができるようにしている。追加や変更等があった場合には、その都度ホーム日誌に記載し、職員間の周知を図り、その後の経過観察を主治医に報告している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の役割や楽しみごとの支援については、自分から動ける方などに支援が偏ってしまいがちになってしまっているため、ご利用者様の生活歴を踏まえた一人ひとりの支援と気分転換が図れるように努めたい。	ご利用者様の役割や楽しみごとの支援については、自分から動ける方などに支援が偏ってしまいがちになってしまっているため、ご利用者様の生活歴を踏まえた一人ひとりの支援と気分転換が図れるように努めたい。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば可能な限り職員が付き添い外出できるようにしている。ドライブ等での外出等が難しい場合は、敷地内の散歩や日光浴をして頂いている。	希望があれば可能な限り職員が付き添い外出できるようにしている。ドライブ等での外出等が難しい場合は、敷地内の散歩や日光浴をして頂いている。	建物のわきにくつつかのベンチが置かれている。天候を見ながら日光浴をしている。外でおやつを楽しむこともある。玄関前にしだれ桜があり、桜の季節には花見をしている。年に数回はドライブにも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様全員が金銭管理が難しい方であり、ご家族様が管理されている。	ご利用者様全員が金銭管理が難しい方であり、ご家族様が管理されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族様の了承のもと、希望時にはいつでも電話連絡が出来るようにしている。	ご家族様の了承のもと、希望時にはいつでも電話連絡が出来るようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や廊下、居間等の共用の空間は常に清潔が保てるよう、こまめな清掃を行っている。障害となるものは置かず、季節が分かるような花や飾りをして季節感がでるようにしている。また、温度や湿度等の環境整備にも心掛けている。	玄関や廊下、居間等の共用の空間は常に清潔が保てるよう、こまめな清掃を行っている。障害となるものは置かず、季節が分かるような花や飾りをして季節感がでるようにしている。また、温度や湿度等の環境整備にも心掛けている。	毎日の掃除は利用者と職員一緒に行っている。動きやすい環境を心掛けている。換気の配慮も忘れない。壁の掲示物は季節を感じるものを一緒に作っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(1号館) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(2号館) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせる ような居場所の工夫をしている	決して広くはないが、共用空間である リビングにはソファやテレビがあり、 テレビを見て過ごしたり、一人に なりたい場合は居室で過ごされたり と、それぞれ自由に過ごされてい る。	決して広くはないが、共用空間である リビングにはソファやテレビがあり、 テレビを見て過ごしたり、一人に なりたい場合は居室で過ごされたり と、それぞれ自由に過ごされてい る。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家 族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	ベッド及びチェストについては施設 で設置しており、その他の物につい ては、使い慣れた物を準備して頂く ようにお願いしている。	ベッド及びチェストについては施設 で設置しており、その他の物につい ては、使い慣れた物を準備して頂く ようにお願いしている。	使い慣れた馴染みの物の持ち込み をお願いしている。仏壇、位牌など 持ち込まれている。天気の良い日は 居室の窓から布団干しをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	日頃の関わりの中で、個々の出来 る事を見つけ出し、出来ることがあ れば職員が付き添い見守りながら、 安全を確保しながら自立した生活が 送れるように安全な環境作りに努め たい。	日頃の関わりの中で、個々の出来 る事を見つけ出し、出来ることがあ れば職員が付き添い見守りながら、 安全を確保しながら自立した生活が 送れるように安全な環境作りに努め たい。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない